

[様式 11]

事業名：「大衆の美術」を紹介する展覧会の可能性をめぐって

事業者名：「大衆の美術」を紹介する展覧会の可能性をめぐる実行委員会

連帯事業者館：財団法人愛媛文華館、神戸市立小磯記念美術館、渋谷区立松涛美術館、天童市美術館、高島華宵大正ロマン館、マリー・ローランサン美術館、リアス・アーク美術館

代表者：財団法人愛媛文華館館長 川又和志

住所：愛媛県今治市黄金町 2-6-2

TEL：0898-32-1063

FAX：0898-31-3299

①施設概要

本事業は 2 日にわたっておこなわれた。第一日目(平成 17 年 12 月 14 日)は、愛媛県松山市内のホテル JAL シティ松山で、第二日目(平成 17 年 12 月 15 日)は、高島華宵大正ロマン館で事業をおこなった。

②事業の意図目的

写真やポスターなどいわゆる「大衆の美術」は、世間では流布するポピュラーな画像である。それらは従来の美術史の中で高度なものとして位置づけられてきた「純粋芸術」(ファイン・アート)とは、描かれた目的や表現方法が異なっている。近年、「純粋芸術」とは異なる領域である「大衆の美術」に目を向けた展覧会が増えつつあるように思われる。そこで、今美術館がどのような視点を持って展示活動をおこなっているのかを議論し、今後の美術館活動の方向性を考え、活動を活性化させることを目的として、本事業をおこなった。

③事業概要

第一日目には、近年開催された「大衆の美術」に関する展覧会の事例発表と今後の「大衆の美術」に関する展覧会の可能性についての発表を岡山県立美術館、夢二郷土美術館、高島華宵大正ロマン館よりおこなった。そしてこの発表者 3 名と大正イマジユリィ学会 4 名によるシンポジウムをおこなった。シンポジウムでは「大衆の美術への新たな視点」と「近代美術が見落としたもの」という 2 つの視点から「大衆の美術」の展覧会の可能性について議論を交わした。

第二日目には、高島華宵大正ロマン館で開催中の展覧会「華宵の少年画―《チャレンジ展示：華宵萌え〜》付きー」を見学し、「大衆の美術」の展示方法についての討論会をおこなった。

④事業の製作物及び報告書

冊子にて報告書を作成(発行部数 500 部)。

⑤参加者状況

参加者人数…延べ 50 人／内訳…大人(主として美術館関係者が参加)

(1) 事業の実施状況について

本事業は2日にわたっておこなわれた。2日間おこなうことで、事例発表やシンポジウムといった研修的な話を聞く場を設けるだけではなく、発表で触れた展覧会を参加者が実際に見て、その感想や問題点を話し合うという参加型のプログラムも組み込むことができた。そのため、出席者の多くは2日にわたって参加した。



▲第一日目、会場風景（ホテル JAL シティ松山）



▲第二日目、美術館見学風景（高島華宵大正ロマン館）

（２）地域との連帯について

本事業は全国に点在する美術館が連帯を組んでおこなうものであり、かつ、全国の美術館関係者や大正時代の文化的な豊かさを顕彰している「大正イメージ学会」にも発表者として参加いただいた。そして、広い視点で日本の美術館活動の今後のあり方について見ていくことができるであろう本事業の告知活動を、各地の美術館関係者だけでなく、市民に向けてもおこなった。

（３）成果物について

本事業のプログラム（事例発表、シンポジウム、展示合評会）を記録し、報告書としてまとめた。

（４）参加者の反応

参加者のほとんどが学芸員等美術館活動に携わる者であったため、美術館活動の根幹に関わる諸問題について触れることができたように思う。しかし、美術館の規模やコレクション内容、そしてそれぞれの館が抱える問題は画一的ではなく、本事業をいかに取り入れ有意義なものにしていくかは、各参加者の今後の活動に委ねられる部分が大きい。

（５）芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

事例発表では、近年各地の美術館で掘り起こされ、展示されている「大衆の美術」の文化的豊かさを感じ、「大衆の美術」を取り上げることで美術館活動の新たな方向性を見出すことが出来るということを知る好機となった。シンポジウムでは、「大衆の美術」を美術館で取り上げることの意義や、「大衆の美術」を取り上げるという傾向になってきた美術館が抱える問題点を明確化し、現在美術館活動が過渡期にあることが示された。そして、展示合評会では、「大衆の美術」というものを展示として見せることの問題点が話し合われた。

以上の点からも推察できるように、本事業では、現在の美術館活動が「大衆の美術」＝文化的なものを取り上げるという傾向を強めていることを把握することができ、かつ、文化を美術館が見せていくという意義や問題点を明確化させ、今後の美術館の一つの方向性について議論を交わすことができた。